

三上山 432m ～ 田中山 292m 縦走 (下見)



三上山山頂：植西さん

‘13.02.09 秋月 康敏

山の逸話：昔三上山をぐるぐると7巻き半もしていた大ムカデを、俵藤太が退治したという伝説が名高く「ムカデ山」の別名もある。又、近江富士、淡海富士、琵琶湖富士とも呼ばれている。

参加者(山行部全員)：園上、山口、植西、佐坂、広瀬、大谷、吉野、中田、秋月

三上山は‘10年4月14日の例会で行った。いつも名神高速で通る時に見ていた山だ。僅か432mの気持ちがあり「いつでも行ける、あんな低い山・・・」の感覚だったが、三上山を越えて続くハイキングコースも含めて「結構楽しい・面白い山」の感想で、今年の市民春山の行き先として推薦した。

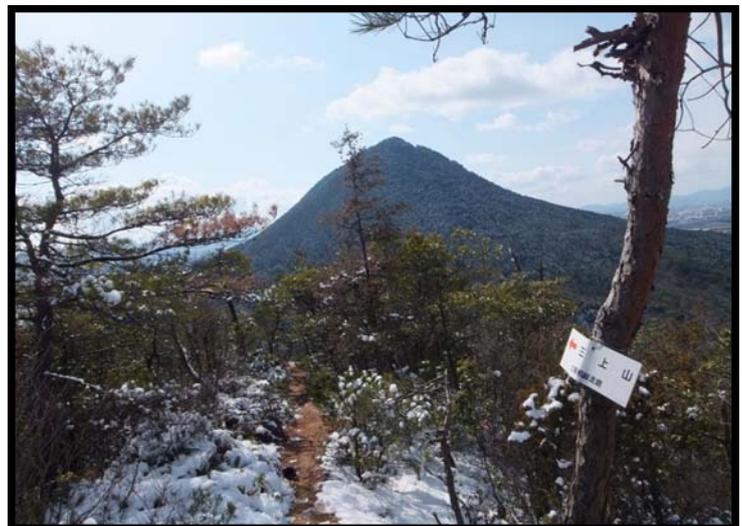
取り付きから約30分のところに「割岩」があり、人一人が通れる割れ目でクサリもあって面白い。今回は昨夜降った積雪があって、うっかりしてそこを見過ごしてしまったが、市民登山では喜んでくれるだろう。山頂手前は急な崖になっていて、登りつめると祠がある、そこが山頂だ。琵琶湖が見える眺望のいい山だ。

S7年10月生まれの植西さん、私と9歳の差で御齡80歳、すごい人がいるもんだ。私も是非あやかりたいものだ。山頂の祠の前で琵琶湖を眺める姿は神々しい感じさえある。以前に聞いた話だが、田んぼに耕運機をかけていたら途中で耕運機が横倒しになって下敷きになり、息子さんに助けられて頭、肩などを数針縫ったそうだ。それから2~3ヶ月で登山に出掛けたそうだ。他にもそういった怪我、病気なども医者指示通りの入院などしないで、自分で治したそうだ。打田で農業と電機業をやっていると聞く、又彼の米はおいしいと聞く、京田辺のチベットと言われる打田産だからだそうだ。

山頂から花緑(カヨク)公園へ一度下って、北尾根従走路に入り、東光寺越、びわ峠の石のトンネルに登り、再度急坂を下って古代峠で休憩。見晴らしは抜群だ！3回目の登り返しで旗振山に出る。たかが三上山432mと思っていたが、何と4回も登り返しがあり、初心者にはキツイかもしれない。旗振山を越えて田中山292mに着いた。

13時52分無事下山、登り始めて約5時間12000歩、約50人のメンバーだと6時間は見ておいた方がいいだろう。

体力度・難易度は中級でみていた方がいいかと思われる。



感想文

広瀬 秀憲

名神高速を走るたびにきれいな姿を見せる近江富士（三上山）に山行部員9名で登ってきました。高さが400mそここのため、今まで登りたいと思ったことはありませんでしたが、今回春山市民ハイクの下見のため登ってきました。

朝方まで雪が降っていたのだろう。うっすらと新雪がつもり、風のいたずらで木々から雪がちらつき、雪が舞うように見えました。

最初から急上りが続き、緑に覆われ均整のとれた外観とは異なり、意外と岩場が多いことにはびっくりしました。道標はしっかりしていますので道迷いはないと思いますが、狭い岩場もあり慎重に歩かないと危険だと思われる場所があります。頂上は木に阻まれ展望はなく、意外と狭いため小休憩で急坂を下り始めました。

ふもと近くで花緑公園方面から北尾根コースに、ゆったりとした尾根歩きが続きます。尾根から時々振り返るとその都度三上山がきれいなシルエットをみせてくれました。古代峠では大岩のくぐり戸をくぐる。この間ふもとに花緑公園が見え、おそらく市民ハイク時には公園の桜が満開だと思われます。光寺日陽、妙光寺山分岐を過ぎて、アップダウンが続き足の筋肉に疲れを感じ始めます。いったん一般道に出、ここから田中山、旗振山登山口へ。急登。

田中山の頂上は広くゆったりします。正面に三上山が聳えています。旗振山から一気に下る。野洲中学校前につきました。

所要時間は5時間で距離は8km程度だと思いますが、急上り、急下りの連続が、足に負担となります。一般の方には多少きつい山歩きになるとおもわれます。

